

【オリジナルSS】ある殺人鬼の独白

セパさん

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

独白体形式で進むオリジナルSSです。まあタイトルの通りです。

目次

ある殺人鬼の独白

いやいや不用心でいけませんねえ、来客があったからと言って相手も確かめずに扉を開けるなんて…。特にこの周辺で連続殺人があったことはご存じでしたでしょうに。知らなかった？あなた様ともあろうお方が余りニユースをお目にされないのですかな、それともわたしが神経質になっていただけなのか。

まあ今となってはどちらでも良い話ですがねえ。

さて、手足も縛られてこれから黄泉へ旅立たれる訳ですが、どのような最期をお好みで？わたくしはこれでも相手の要望に則って安らかな旅立ちのお手伝いをしたいと考え、殺人をしているのですよ。それが、わたくしの生き甲斐なのですよ。

そうですねえ……、まずこちらのナイフなど如何でしょう？

刃を横に滑らせて心臓を一突きにする方法でございます。下手くそがやるといけない筋肉まで切り裂いてかなり痛いのですが、わたし程のベテランになるとあばら骨をすり抜けさせて、痛みもなくいっぺんにシヨック死させることができます。

わたしは殺人鬼ですが猟奇的な趣味は持ち合わせていないのでね、苦しむ姿はみたくないのですよ。

次にこちらのロープです、丁度首に掛かる部分に油を塗っておりますして2、3秒血の気が引いていく感覚はありますが痛みはありません。こつちも下手くそだと気道が圧迫されて苦しむのですがそこは信頼してください、柔道の経験者なら絞め技で落とされるような感覚と言えば通じますが……。ああ判りませんか。そうですか。

じゃあこれなんぞ如何でしょう？玉薬ですがわたくしの特製ですてね、流石に市販薬ではありませんが個人輸入した睡眠薬と血圧・血糖値を下げる薬を混合させたものでございます。ちよいと苦いですが眠る様に死ぬことが出来ますよ？本当は注射でやるのが一番確実なのですが、流石に注射器は手に入らなくてですね、まあ苦さと注射の痛みは相殺ということ……。あははは。

ああ、そんなに大声を出さないで下さいな。大声で叫んでも誰も助

けなんて呼んではくれませんよ、何十件も同じことをしているわたくしが言うのだから間違えはない。都会の人間とは薄情なものでいざ事件にならないと誰も何もいわないし、死体にならないと話題にはしてくれないのです。

それにしても皆なんでもそんなに殺されるのが嫌ですかねえ、老いて病で死んでいく方がわたくしは嫌で嫌で仕方が無いとは思うのですが。人間の一番の死因はご存じで？

：そうです、癌です。癌なんて大変ですよ？最強最悪の痛み止めモルヒネを打ったところで大の大人が泣くほどに痛いのです。それで何ヶ月も苦しみ抜いて死ぬのですから、一瞬だけの恐怖で死ぬるあなたはむしろ幸福だとさえ言えますよ。

え？お前が選んでみろ？

あつははは、まあそんな真似をしなくてもわたくしは死刑で首括りでしょうよ。幾らわたくしでも永遠に捕まらないとは思っておりません、捕まれば無意味な裁判を経て、無駄に食事や安寧が提供され、無難に死刑でしょうなあ。

ええ、いやはや感謝しているのですよ？一度は死刑になりかけた身だというのに、先生のお陰で無罪になりこうして再び殺人に身を置けたのですから。そのご恩に先生の安らかな旅立ちを願ってこうして参った訳です。

さて、奥様は毒殺を選ばれましたが……

弁護士先生はどのような最期をお望みで……？